

結果を報告します

秋季住民懇談会

平成28年度秋季住民懇談会が10月18日(火)から28日(金)まで市内全14会場で開催されました。今回の住民懇談会は、市民の皆さんからの要望などを聞くことに重点を置き、各会場では、皆さんから様々な要望やご意見を聞かせていただきました。

災害

Q 近年の豪雨は集中的に多量の雨が降るようになってきた。下水管などの大きさなど今のままでは対処できないのでは。

A 以前は主に川の氾濫を予測し対策を考慮してきました。今回の豪雨被害は山から流れる水も被害の原因となりました。今回の教訓を生かし対策をしていきますが、現状すぐに土管など設備を変えることはできません。少しずつ改善していきながら安全を確保するために尽力します。

Q 今回の水害で市は対策本部を設立したと聞くが、町内会でも独自の対策本部を設立する必要があると実感した。市の対策本部と連携も行いたい。全市的にこうした対応が可能となるよう呼びかけを行っていただきたい。

A 災害が発生した際、一番最初に動けるのはやはり地域だと思えます。今回の災害でそのことを痛感したところなので、そのような申し出は大変嬉しく思います。情報提供など含め連携させていきます。

Q 大雨災害の時に「水道が止まりますよ。」と言う放送があった。車のスピードが速くて何を言っているかわからない。

A 大雨災害の時に「水道が止まりますよ。」と言う放送があった。車のスピードが速くて何を言っているかわからない。

もつとゆっくり止まって放送すべき。また、ほかの町内では給水車が来ていたが宮下町だけが拠点給水のポイントがなかった。また、このような時はできる限り地域に住んでいる職員を対応にまわした方がいい。

A 検証をすすめていきたいと思えます。

Q 赤平は今回の台風の激甚指定を受けているのか。個人的に農業被害にあったものは対象になるのか。

A 今回、北海道に上陸した4つの台風が激甚指定されており、河川や道路の決壊などが対象になります。また、農業災害でも申請することはできましたが、時間も要することから今回は見送らせていただきました。

Q 茂尻新町・栄町の避難所は東公民館になっている。大雨で千曲川や墓地の川が氾濫したら、ここは陸の孤島状態になる。どこに避難をすればいいのか。

A こちらの地区の避難所は東公民館になっておりますが、今回の大雨は想定を超える雨量となりました。今後は町内会とお話をすすめてどのような対策がよいか検討していきます。

Q 今回の大雨で山側の対策がなっていないことが明らか

になった。防災のまちづくりが必要。

A 山側の側溝の話は何つています。内部でも協議させていただきます。



Q ハザードマップに避難情報の伝達と記載されているが、伝達になっていない。

A 地域防災計画やお話のハザードマップにも伝達などについては記述されており、再確認して進めて行きたいと考えております。

Q ハザードマップを市民に配布しているがわかりづらい言葉がある。高齢者にはハザードマップよりも防災マップの方がわかりやすい。

A おっしゃるとおり、わかりづらい言葉がありますので検討していきます。

移住・定住

Q 人口減に悩んでいるところが多いが、道内で人口が増えている自治体もある。赤平も空き地があり、安く売って期限を決めて家を建ててもらい、子育て世帯を呼び寄せて赤平に定住してもらうてはどうか。

A 今年度市有地を評価額の1割で売却しております。西文京町では申込みがありました。また、持家住宅建設等助成事業を行っており、3年以内に新築する条件で最高200万円の助成をしています。また、民間賃貸住宅家賃助成では、市外から転入して民間賃貸住宅に移住している場合、1カ月3万円の限度で5年間の助成があり平成26年度から37名が他市町村から移り住んでいます。

Q 赤平の企業で働いている人の6割が市外から通勤している。特に若い人が赤平に住んでもらえる環境づくりが必要では。市内の企業にもアンケートをとって、どうして赤平に住まないので具体的な聞いてみては。また、空き家も活用するなどもっと情報を流して、民間の活力も使いながら赤平に住む人を増やしてはどうか。

A 赤平の企業で働いている人の6割が市外から通勤している。特に若い人が赤平に住んでもらえる環境づくりが必要では。市内の企業にもアンケートをとって、どうして赤平に住まないので具体的な聞いてみては。また、空き家も活用するなどもっと情報を流して、民間の活力も使いながら赤平に住む人を増やしてはどうか。

A 企業アンケートは実施して
います。理由については、質
問は行っていませんでした。深く
内容を聞くことも必要だと思
います。赤平市は空き家、バンクなど
もおこなっており、売りたい物件
、貸したい物件などの情報を市の
ホームページ上で掲載していま
す。また民間賃貸住宅の戸数が少
なく、移住希望者の要望には応え
られてはいますが、今後アパー
トが増えていけば人口増も期待
できると思います。

Q 赤平に移住してくる人は、
定年後に移住する人だと思
う。趣味のクラブ活動や同好会
に指導者を派遣する体制を整え
て、趣味の域を越える活動がで
きるようにし、それを情報発信
したらどうか。あと、農業指導を
行ってもらえる場もほしい。

A 都会から定年退職者を呼ぶ
のが来やすいと思います。
赤平に来ると生きがいを持つて
というPRも有効ではないかと思
います。また、江別の4大学と
の連携協議会もあり、酪農学園大
学から大学の教授や学生を呼ん
で指導していただくことも可能
です。クラブや同好会などの活
動団体でリーダーをつくり、行
政に対して何を協力してほしい
か検討してください。

市内施設

Q 市では住友の炭鉱跡地など
を購入したようだが、今後
どのように活用、整備してい
く考えなのか。

A 今年の7月に住石マテリア
ルズから建物、機械類が無
償譲渡されました。土地につ
いては、固定資産税相当額で借上
げているので、費用としてはそ
の部分がかかりません。同時に有
識者を含めた炭鉱遺産活用検討
協議会を立上げ活用の方針を固
める作業を行っているところで



Q ズリ山階段は、冬は雪捨て場
にいい所だが、芦別のなま
こ山みたいな施設で、プール、
サッカー場などを何年かかけて
一カ所につくってしまえば、トイ
パークゴルフ場もつくれば近隣
からたくさん人が来るのでは。
計画はないのか。

A 炭鉱遺産活用検討協議会で
ズリ山から立坑までをどう

するか議論しており、この間の
水害をきっかけとして、パーク
ゴルフ場を移せないか議論して
います。様々な意見が出ていま
すが、全て整備するにはかなり
の費用がかかるので、施設の優
位性を検討していきます。

Q 病院の財政状況はどうな
っているのか。

A 昨年は病院の建替え事業の
関係で経常収支で赤字が出
ました。患者数は減少傾向にあ
りますが、過去に問題となった
不良債務のような状態にはな
っていません。

Q A K A B I R A ベースは2
年計画で今年が最終年とな
るはず。2、3回行ったが品物は
少ない。

A おっしゃるとおり2年計画
で実証実験の最終年となる
年です。軽トラ市などの様々な
イベントも試みながら、少しづ
つ情報発信や物販の充実を進め
たいと思います。



Q 平岸27線の国道の北の部分
が道路が狭く、車の交通が
不便である。道路を拡張するこ
とはできないのか。

A 道路で一部狭い箇所がある
ことは把握しています。全
市的な道路整備計画の中で検討
して行きます。

Q 除雪の運転手が変わって今
までの捨てる場所の状況を
理解していない。雪が降る前に
協議できないものなのか。

A 業者には指導をしております
ですが、再度周知します。

Q 田島商事の三叉路の交差点
だが一方通行になっており、
わからないで逆走する人が多い。
危ないので、市から警察に話を
して欲しい。

A 赤歌警察署の職員にお会い
する機会があるので、伝えて
おきます。

その他

Q バイパスが整備され、富良
野方面に行く車は赤平市街
を通らなくなりました。何か
取組んで対策をすべきでは。

A 当市の人を呼ぶ核となる
ものとして、炭鉱遺産の活
用方法を有識者を交えて進めて

おり、実現すれば、フットパスや
見学参加者の増加も期待できま
す。

Q 議員の政務活動費がニュー
スになっているが、赤平市
の議員活動費の予算と支出消
割は何%くらいか。

A 赤平市では、政務活動費は
ありません。

Q 赤平のふるさと納税はどの
ような状況か。

A 昨年は1億6千万円の寄附
を全国の方からいただきました。
今年は昨年より若干伸び
て推移しています。

Q 各町内会館にAEDを設置
できないのか。そういった
研修はできないのか。

A AEDの設置については持
ち帰って検討させていただきます。
研修は消防で行っております。

